

新年初祈禱のご案内

個人祈禱

一、厄年祓

本厄

四十二歳 男 昭和四十八年生
 三十三歳 女 昭和五十七年生
 二十五歳 男 平成二年生
 十九歳 女 平成八年生

前厄

四十一歳 男 昭和四十九年生
 三十二歳 女 昭和五十八年生
 二十四歳 男 平成三年生
 十八歳 女 平成九年生

後厄

四十三歳 男 昭和四十七年生
 三十四歳 女 昭和五十六年生
 二十五歳 男 昭和六十四年生
 十九歳 女 平成七年生

一、身祝(男女)

還暦

六十一歳 昭和二十九年生

古稀

七十歳 昭和二十年生

喜寿

七十七歳 昭和十三年生

傘寿

八十歳 昭和十年生

米寿

八十八歳 昭和二年生

一、家内安全祈願

一、商業繁栄祈願

一、合格祈願

一、安産祈願

一、初宮詣

一、その他諸祈願

◎初穂料 五千円より志
(但し厄年祓・身祝祈禱はお酒・鏡餅等お供え下さい)

団体参拝

※事前にご予約下さい

- 一、職場安全・商業繁栄祈願等

◎初穂料 二万円より志(お酒二升をお供え下さい)

◆祈禱受付時間 元旦 午前0時〜午後5時 / 二日以降 午前9時〜午後5時

お問い合わせ 射水神社社務所 ☎0766-22-3104



射水

第21号
射水神社社報



参入道整備予想図 (5頁関連記事)

Utsukushi no mori Marriage Story

柔らかな光につつまれた和モダンな雰囲気
 で、和と洋、こだわりの披露宴が叶います。



うつくしの杜

射水神社

射水神社

検索

URL <http://www.imizujinja.or.jp>

Eメール info@imizujinja.or.jp

お問合せ (社務所) (0766) 22-3104 (結婚式場) (0766) 22-0808

年頭のご挨拶

常に若々しく

射水神社宮司 松本正昭



新年あけましておめでとうございます。
平成一十六

年の年頭にあたり、謹んで皇室の弥栄と崇敬奉賛会・崇敬者各位のご繁栄を祈念申し上げます。

平素、崇敬奉賛会々員各位には、篤志をもって神徳の宣揚・神社護持に御協力を戴いております事、厚く御礼を申し上げます。

長年に亘り、篤い敬神の念の下に崇敬奉賛会長を務めて戴いております。た綿貫会長には、昨年、目出度く満百歳をお迎えられた事を機に、名誉会長にご就任されました。会長として長年の御苦勞に対し深く感謝申し上げますと共に、今後におきまして更

なる神徳宣揚に後ろ盾を戴きますようお願い申し上げます。

扱、昨年は、二十年に一度の伊勢の神宮「第六十二回式年遷宮」、六十年ぶりの出雲大社の「平成の大遷宮」と我が国有数の大社で同じ年に遷宮行事が斎行されました。この二つ遷

座祭に、社殿・神宝・装束を古い形そのままに新たに作りなおし、神様をあらためて迎えられることに秘められた意義は、神道の自然との深い関わりに言及するだけでなく、日本人の深層にある生命観にも触れ、永遠に、常に若々しくあろうとする「常若」の精神を具現化することにあると思えます。それは国家の平安と個人人の幸せをあらためてお祈りする「再生」の儀式でもあります。したがって日本人の生命観の根幹にある「常若」の精神は、「古くて、しかも常に新

しい」と言うことであり、絶えることなく生命の循環と再生が営まれることを意味することであります。

甦りの平成二十六年の新たな年を迎え、当神社崇敬奉賛会も綿貫崇敬奉賛会名誉会長のもと、新たなスタートを切り、更なる飛躍を遂げていくものと確信致しております。

来る平成二十七年の式年祭に向けては、昨年十一月十九日に執り行われた崇敬奉賛会理事役員会において長年に亘り御尽力を戴いております穴田甚朗氏が式年大祭奉賛会々長に満場一致にて推挙され、現在、二月の臨時總會開催の為、準備を進めております。

本年は間近に控えておりますこの鎮座千三百四十年・遷座百四十年祭に向けて、御神威もあらたかに、高岡の町々里々が益々発展する事と併せまして、崇敬奉賛会々員各位には益々ご健勝でご活躍されますことを祈念申し上げます、年頭の御挨拶と致します。

神社と祭礼と地域の元気

崇敬奉賛会総裁 橘慶一郎



新年明けましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いで清々しい初春をお迎えになったことと存じます。

総裁という身に余る役を仰せつかって一年余り経ちました。東京での公務のためにご迷惑をかけながら、綿貫会長始め役員・会員の皆様、また、松本宮司始め神職の皆様のご指導とお力添えを頂き、射水神社に少しでもお役に立てればとの思いで務めております。

昨年は、二十年に一度の伊勢神宮の式年遷宮と、六十年に一度の出雲

大社の大遷宮が重なりました。国全体に東日本大震災の苦難を乗り越え、新たな気持ちで前進しようという気運が高まってきたように感じます。秋に平成三十二年の東京オリンピック開催が決定したのも偶然ではないように思います。

射水神社も来年は鎮座千三百四十年、遷座百四十年の節目に当たります。丁度、北陸新幹線の開業と重なる訳で、新たな発展の時代へと地域が踏み出して行く予感が致します。

私事ですが、現在、全国山・鉾・屋台保存連合会の会長を務めております。国の重要無形文化財に指定された祭礼に携わる皆さんの組織ですが、總會等で各地に向くと、お祭りが地域の人々の絆であり、元気の

源であると痛感します。そして、お祭りの礎は常に、その地域を見守る神社の神々です。「村の鎮守の神様の」の唱歌の通り、県西部各地で盛んな獅子舞も村祭りであり、老若男女が地域に集い、心を通わせ、明日への活力を蓄える大切な催しです。

地域の中心に神社があり、田植え、収穫、様々な節目に鎮守の神様に感謝する祭礼を通じて、地域が元気になる。それが日本という国の文化であり国柄であると思えます。

射水神社も、来年の式年大祭斎行に向け、実行委員会が中心となつて準備を進めて参ります。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。この一年の、国と皆様の弥栄をお祈り申し上げます、ご挨拶と致します。

祭事暦 (上半期)

- 8月7日 七夕短冊焼納祭
- 8月17日 土俵祭
- 8月27日 諏訪社例祭
- 9月16日 秋季大祭
- 9月22日 日吉社秋祭
院内社秋祭
- 9月23日 秋季皇霊祭
- 10月1日～11月30日 七五三まつり
- 10月2日 神宮遷御遙拜式
- 10月6日 いみづの炎ほむすび
- 10月8日 高岡市護国神社
秋季大祭
- 10月17日 神嘗祭遙拜・奉祝祭
- 11月3日 明治祭
- 11月23日 新嘗祭
- 12月22日 冬至祭
- 12月23日 天長祭
- 12月25日 神符守札奉製入魂祭
- 12月29日 年越大祓
- 12月31日 除夜祭
- 毎月1日朔日祭・23日月次祭

杜の景色

祝御遷宮 神宮遷御遙拜式を斎行

第六十二回を迎えた二十年毎の神宮式年遷宮は、十月二日に内宮において遷御の儀が斎行され、当社でも遙拜式を執り行いました。

千三百年以上という長い歴史と伝統の式年遷宮のまごころを我々は決して絶やしてはならず、弛むことなく次代へ継承していかなければならないと思う次第です。



神宮と同じ棟持柱をもつ神明造の当社本殿(昭和61年撮影)

祝御遷宮 神嘗祭遙拜奉祝祭 奉祝奉納公演も

伊勢の神宮において天照大神に新穀をお供えし、収穫を感謝する神嘗祭当日の十月十七日、毎年恒例の神嘗祭遙拜奉祝祭を斎行致しました。

また同日には、この度の神宮式年遷宮を奉祝し、小馬崎達也&PANGAEAによる御遷宮奉祝奉納公演が執り行われ、参列者一同、神恩感謝の誠を捧げました。



いみづ茶寮にて

祝御遷宮 いみづの炎ほむすびを斎行

十月六日、伊勢の神宮の式年遷宮を記念し、「いみづの炎ほむすび」を初めて執り行いました。

境内を優しく包み込む約八百個のろうそくのあかりに各々が日々お守りくださる神様への「感謝」と「祈り」を込めました。

当日はウエディングフェアも開催され、多くの参拝者が見守られ、多くの参拝者が見守られ、多くの参拝者が見守られ、多くの参拝者が見守られました。



秋の夜空のもと、幻想的に照らされる社殿



平成二十七年

御鎮座千三百四十年
御遷座百四十年

式年大祭 斎行

射水神社は、二上神を奉斎して二上山麓に創建され、『延喜式』越中三十四座

中で唯一の名神大社、また国家安穩、五穀豊穰を祈願する越中国一宮として、古

来その御神威は朝野に知れわたり、越中国の太守護神として崇敬されてきました。

明治四年(一八七二)には国内で最高の国幣中社に列せられ、神仏分離の世情

を背景に、諸条件を鑑み、現鎮座地の高岡城本丸跡に官費を以って社殿が造営さ

れ、同八年(一八七五)九月十六日、盛大且厳肅に遷座祭が斎行されました。

しかし、終戦により官費が断たれて後、神社の衰退は極めて厳しく、これを憂

えて奉賛会が発足、今日まで広く県内外より崇敬奉賛の赤誠が捧げられています。

特に、昭和五十年(一九七五)、畏き辺りより幣帛料を賜り、御鎮座千三百年・

御遷座百年祭が麗しく斎行されました。

当社では、これまでも式年大祭を十年毎に斎行し、拝殿、参集殿等の増改築、

境内整備等が執り行われ、現在の社頭となりました。

来る平成二十七年は、御鎮座千三百四十年・御遷座百四十年の節目の年にあた

ります。元の鎮座地である二上山との太古よりの地縁を繋ぐと共に、崇敬者各位

の御奉賛により、式年大祭、並びに記念事業を執り行い、御神徳に報い、さらな

る御神威の発揚につとめたく存じます。

何卒、絶大なる御奉賛を賜りますよう、お願い申し上げます。

《記念事業の概要》

御本殿及び社殿屋根修繕・手水舎増改築・参道境内整備等

《祭典並びに各奉祝行事日程のご案内》

◆稚児社参・神賑奉納行事(平成二十七年六月より受付開始)

平成二十七年九月二十一日(月・敬老の日)

◆神輿渡御(本社↓二上射水神社)

同二十二日(火・国民の休日)

◆式年大祭・慶賀祭

同二十三日(水・秋分の日) 午前十時斎行



手水舎完成予想図

越中の食彩

扇子商店
扇子 忠之

手作りの味に

こだわる

皆さま、ごぞんじのとおり、富山県は、昆布の消費金額が日本一です。そして、高岡市は、昆布専門店が、県内で一番多い所であり、昆布が好きな土地からです。最近では、昆布スィーツや昆布飯などで、さらに昆布の文化を発信しています。

扇子昆布店は、昭和

三十八年に旅籠町に店を構え、五十年経った今でも昆布を手で削る事にこだわっています。県内で昆布を手作りしているのは三軒だけとなりまして。店の奥にある作業所では、息子

と私で「黒とろろ昆布」と「おぼろ昆布」を作っています。

父から受け継いだ技を息子に伝えたい。そして、高岡の昆布文化を守っていききたいと思っています。

黒とろろ昆布は、まぐず専用の包丁にのこぎりの刃のような細かい凹凸をつけて、研ぐ所から始まります。一杯の酢につけた昆布を、その包丁で力を入れて、くいこませながら何度も削ります。三年ほどかかってやっと一人前になるので、息子も四苦八苦しています。

作業場は、一般の方でも見学を受け付けていますので、ぜひおいで下さい。手作りしかだせない昆布の食感を一度味わって下さい。



神前結婚式

平成二十五年

文月 七月奉式

中原 圭一・由記
沼田 敬樹・由衣

葉月 八月奉式

宇和山 猛・陽子

長月 九月奉式

中田 公治・幸子
中杉 晴久・美和

清田 邦克・恭子

南田 建志・高子

東海 章人・志帆

佐武 洋平・亜由美

藤木 修一・聡子

金森 賢一・仁美

二保 宏和・康子

神無月 十月奉式

土居 隆洋・真弓

衣笠 正・麻子

長柄 大介・美恵子

徳田 弘之・愛

山口 智史・真由美

島山 義史・美佳

堀山 智也・香織

川合 英文・由佳

霜月 十一月奉式

館野 竜二・幸恵

佐野 雅史・春香

永井 剛成・麻里子

吉田 雅充・妙子

水口 信礼・美緒

中嶋 寛徳・文路

干場 充剛・佳代

萩野 充彦・百恵

狩野 達郎・可奈子

魚倉 浩史・美穂

中島 淳志・英史子

窪江 陽一・望

龜山 陽一・華恵

師走 十二月奉式

古川 健治・裕子

中山 崇・明美

水木 大輔・由佳

高澤 直樹・美苗

泉田 篤志・早苗

舛田 清幸・朋美

今井 壯史・忍

江藤 忠法・理恵

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年、伊勢の神宮ではご遷宮の佳節の年をお迎えになられ、遷御の儀も恙なく斎行されました。心よりお慶びを申し上げます。

ご遷宮を奉祝致しまして、今号の「杜の景色」は、ご遷宮に関する当社での祭儀等を掲載致しました。

現在、当社におきましては、平成二十七年の式年大祭に向け諸準備を進めております。趣意書をご覧頂き何卒、ご奉賛を賜りますようお願いを申し上げます。

訂正とお詫び

社報「射水」第二十号の表紙写真を、「古城の滝」と明記致しましたが「城光寺の滝」の誤りでした。ここに慎重に訂正し、お詫び申し上げます。

『ふるさと』 射水神社

⑨元宮・二上射水神社の 築山神事のこと(その一)

射水神社元宮である二上射水神社(高岡市谷内鎮座)では、毎年四月二十三日(旧暦三月八日)に春季例祭に併せ、築山神事が斎行される。

築山は境内の三本杉と呼ばれる大杉の下に社殿に面して、つまり二上山に向かって作られる。幅四間、奥行三間の舞台状の壇で、上下二段になっており、上段中央に唐破風の簡素な祠がしつらえられ、その前に三本の御幣が立てられる。屋根の上には斧をかざした天狗が立ち下段には甲冑に身を固めた四天王(多聞・増長・持国・広目)の薬人形が置かれ、いずれも面を付けて鎧に身を固め、刀をさして、背には名を記した標記を

背負う。祭壇の左右には桜と白いモクレンを模した紅白の造花が籠いっぱいに入れられ飾られる。

古代の信仰では、神は天上である天津御空にあり、祭祀に際して神を招き感謝と祈りを捧げ、祭りが終わるとお帰りを戴いた。その降臨される依代が、磐境・磐座また、神籬であり神奈備である。射水神社は、古

来、御神体である二上山を神奈備とする信仰であり、祭祀は二上山

山頂で執り行われていたと考えられる。しかし、人々の生活が複雑になり、その生活の安寧を願うようになると、春秋の祭祀だけでなく、年中人里に神々の常住を願い、便利な山麓に人工の築山を造って二上山の神々をお迎えし祭祀を執り行うようになった。

その後、山麓に立派



三本杉の前に設営された築山
写真提供：いこまいけ高岡 (<http://takaoka.zening.info>)

発行 射水神社
発行日 平成二十六年一月
発行所 〒953-0044 高岡市古城一丁目
TEL (0766) 211-3004
FAX (0766) 211-3725
印刷所 キクラ印刷株式会社